

経営改善資金計画書(法人)

<input type="checkbox"/>	農業協同組合	}	御中
<input type="checkbox"/>	信用農業協同組合連合会		
<input type="checkbox"/>	農林中央金庫 支店		
<input type="checkbox"/>	銀行 店		
<input type="checkbox"/>	信用金庫 店		
<input type="checkbox"/>	信用協同組合 店		
<input type="checkbox"/>	株式会社日本政策金融公庫 支店		

提出先の窓口機関にチェックを入れてください。

年 月 日

住所

法人名

代表者

印

1 計画期間 年度～ 年度

2 法人の概要

設立年月	年	月	資本金	千円
------	---	---	-----	----

構成員氏名	年齢	役職担当	法人従事日数	出資口数	目標年の状況

注 連帯債務者は、氏名に○印を記入

構成戸数	戸	常時雇用	人	臨時雇用	人
------	---	------	---	------	---

3 経営規模

田 (うち借地)	a	(a)
畑 (うち借地)	a	(a)
樹園地 (うち借地)	a	(a)
採草放牧地(うち借地)	a	(a)
施設面積	棟	m
常時飼養家畜	種類	頭、羽

(添付書類)最近3か年の決算書(付属明細書を含む)

※法人格を有しない団体も本計画書に準ずる。

4 経営改善の視点

(1) 直近の経営状況はどうなっているのか(経営実績)

① 経営者の能力、経営力を背景とした生産、損益、資金繰り実績

特別の事情があるときは
その前年

(金額単位:千円、その他単位は適宜)

			直近年(年)		直近年(年)	
売上	(記入例) 水稲	共済加入の有無 有・無	生産量		単収	
			売上高		単価	
	(記入例) だいこん	共済加入の有無 有・無	生産量		変動理由	
			売上高		単収	
	(記入例) りんご	共済加入の有無 有・無	生産量		単価	
			売上高		変動理由	
		共済加入の有無 有・無	経営規模		単収	
			生産量		単価	
			売上高		変動理由	
		共済加入の有無 有・無	経営規模		単収	
		生産量		単価		
		売上高		変動理由		
その他()				0		
売上原価				0		
期首商製品棚卸高				0		
当期商品仕入高				0		
当期製品製造原価						
材料費						
労務費						
賃借料						
その他経費 (減価償却)						
期末商製品棚卸高				0		
売上総利益						
販売費・一般管理費						
役員報酬						
その他人件費						
出荷販売経費				0	→ 出荷手数料、販売促進費等	
減価償却費						
営業利益				0		
営業外利益				0		
営業外費用				0		
支払利息					→ 農業関係に係る借入金の利息 + 農外事業関係に係る借入金の利息	
経常利益				0		
税引前当期利益						
法人税等充当額						
税引後当期利益				0		
償還財源					→ 農業関係の借入金の元本 + 農外事業関係の借入金の元本	
償還金(元本)						
差引余剰					→ 税引後当期利益+減価償却費-償還金	
施設・機械等の設備投資					→ 固定資産として計上し、単年度の 費用としては計上しないもの	

農業に係る売上高には、①自ら
行う農業に関連する事業であって
農畜産物を原材料とする製造、加
工等の事業の他に②自主流通米
対策費、稲作経営安定資金、大
豆なたね交付金、加工原料乳補
給金等の販売数量に応じて支払
われる補助金を含む。

主要な作目別に記載(加工・販売、
農作業受託等も記載)

(注)変動理由は災害、病害等簡潔に記載。

法人の直近年売上高	A	千円
農業に係る直近年の売上高	B	千円
B / A		%

② 経営力を背景とした財務内容(資産負債バランス)

項目	金額	主な勘定内訳
流動資産		預貯金()、売掛金()、受取手形()、棚卸()
固定資産		土地()、建物()
繰延資産		
資産合計	0	
流動負債		短期借入金()、買掛金()、支払手形()
固定負債		長期借入金()
資本		資本金()、法定準備金()、剰余金()
保証債務		第三者のために保証人になっている 額及びその明細

参考: 法人の構成員が当該法人に貸与している土地の価格の合計額 千円

③ 経営上の課題はないか

(営農類型:

・代表者が経営上の課題を主体的に把握しているか

課題・問題点がない項目については記載不要

項目	状況	問題・課題点(その改善策)	※問題ありの場合に記載
技術レベル	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	(記載例) 広域に農業経営を行っているので、技術部門リーダー1人では全地域の技術指導が思うように任せない状況となっている。	
単収	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	(記載例) 我が法人の各地域の単収はいずれの地域の平均単収を上回っているものの、資材価格が割高となっている。	
品質・単価	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	(記載例) 転作麦の作付け予定地には中性品種の作付けは、麦播種後の湿害を受けやすく、品質低下があり、単価が相場を下回った。	
経営規模	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	(記載例) 経営規模の拡大を図っているが、直播や乳苗等の新技術の定着化推進により栽培方法の変更が必要となったことに伴い、機械化体系の変更も必要な状況となっている。	
コスト	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	(記載例) 法人組織に出入りする人数が多いので、作業時間の管理が複雑になっている。	
販売方法	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	(記載例) 系統販売が中心となっているが、地元の系統は規格外品を取り扱っていない。	
加工流通	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	(記載例) 生産地から消費地まで遠距離であることや生産物に付加価値をつけ収益アップを図ることを計画し	
その他	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	(記載例) 構成員は家族や親戚に限られている実態である。	

(2) 経営の改善を図るための事業内容

① 経営改善を図るための方策(4の(1)の③の経営上の課題を踏まえ、その改善方策を具体的に記載)

<p>(記載例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術レベル向上のため、あと2人程度の技術部門リーダーを養成する必要あり。 ・資材価格が割高となっているため、地域ごとに出されている営農ごよみを参考に独自の栽培ごよみを作成し、施肥設計に沿った栽培を励行することが肝要。 ・品質・単価の向上のため、麦の作付品種の再選定が必要。 ・栽培方法の変更が必要となったため、機械装備対応の整備が急がれると認識。 ・作業時間の管理のため、パソコン日誌やタイムカード方式の早期導入が重要。 ・生産性の向上のため、トマトのマルハナバチ利用やナスの1側枝1果取り栽培などの省力化技術の早期確立が必要。 ・販売方法では、直売等その販売方法を確立することが重要。 ・生産物に付加価値をつけるため、農産加工施設の整備が必要。 ・法人のメリットを活かす観点からも広く農業を希望する意欲的な人材を募集して育成していくことが急務。 	<p>農業経営改善を図るための方策例</p> <ol style="list-style-type: none"> ①販売高の引上げ(単収アップ、単価アップ、規模拡大)、 ②生産コストの削減、 ③新しい作物分野、流通加工分野、新技術の導入、 ④省力化(労働時間の軽減)
---	--

※新作物・流通加工・新技術のチャレンジの場合は、その旨を具体的に記入してください。

② 設備資金の使いみちと資金調達

実施年度	投資内容	規模・能力	数量	事業費 【単位:千円】	新設・更新	資金調達計画	
						(自己資金、補助金、借入金等)	(借入金の場合、償還期間)
1	(記載例) 農地取得(畑、小作地)	Oha		〇〇千円	新設	借入金〇〇千	
2					新設・更新		
3	(記載例) トラクター購入	〇条刈	〇台	〇〇千円	更新	自己資金	
4					新設・更新		年
5					新設・更新		年
合計							

※目標年度までのすべての設備投資をご記入ください。(自己資金のみによる設備投資を含めてご記入ください。)
投資内容の欄について、農地等を取得する場合は、田、畑などの用途と、自作地・小作地の別をご記入ください。

③ 運転資金などの主な使いみちと資金調達(研修、調査、研究開発費として必要な資金も本欄にご記入ください。)

長期運転資金の使いみちと算出基礎	必要時期	必要額	償還期間	備考
(記載例) 増加運転資金(飼養頭数当たり所要運転資金〇〇千円×拡大頭数)		円	年	
(記載例) 増加運転資金(ha当たり所要運転資金〇〇千円×拡大面積)		円	年	
	月 日	千円	年	

④ (スーパーL資金について)経営安定のための資金の使いみちと資金調達

資金の使いみちと必要額の算出根拠	必要時期	必要額	償還期間	備考
○負債の整理(※1)	年 月	千円	年	
○資本構成の是正(※2)	近代化資金では記載不要		千円	年
○その他	年 月	千円	年	

※1 金利が高いとか、償還期間が短いといった理由により、現に経営の安定に支障をきたしている既往負債がある場合に、その負債を整理の対象にするものです。

※2 本来は長期資金で対応すべきものを短期資金で対応したために悪化した流動比率を、長期資金への借換えによって是正するものです。

(参考)既往借入金の状況(農業経営以外の借入金も記載してください。)

(年 月 日現在)

借入先または資金名	主な資金の使いみち	借入年月	現在残高 【単位:千円】	利率	償還期限	据置期限	償還方法 (いずれかを○で囲んでください)
1 (記載例) スーパーL資金	コンパイン購入	年 月		%	年 月	年 月	元金均等、元利均等、その他
2 (記載例) 共済担保貸付	生活資金	年 月		%	年 月	年 月	元金均等、元利均等、その他
3		年 月		%	年 月	年 月	元金均等、元利均等、その他
合 計							

⑤ 経営改善のための計画の算出基礎(該当する営農類型について記入してください。)

(耕種)

該当する営農類型のみ記載

作目	実績		目標	
	単収	単価	単収	単価

今後改善を意図していないものについては、現状どおりの取組を記入すれば足りる

(酪農)

区分	該当する営農類型のみ記載		目標	区分	単位	実績	目標
経産牛1頭あたり乳量	kg / 頭			濃厚飼料総給与量	t / 年		
乳価	円 / kg			濃厚飼料平均価格	円 / kg		
乳飼費	%			粗飼料総給与量	t / 年		

(肉用牛)

品種(該当品種に○)		和牛、F1		乳用種、和牛、F1	
区分	単位	実績	目標	実績	目標
素牛	導入頭数	頭 / 年			
	導入月齢	か月			
	導入価格	千円 / 頭			
販売牛	販売月齢	か月			
	販売体重	kg / 頭			
	販売価格	千円 / 頭			
枝肉ランク	%	A4以上	A4以上	B2以上	B2以上
濃厚飼料総給与量	t / 年				
濃厚飼料平均価格	円 / kg				
粗飼料総給与量	t / 年				

(養豚)

区分	単位	実績	目標	区分	単位	実績	目標
種豚の品種	♂			肥育豚	出荷日令	日	
	♀				出荷体重	kg	
母豚1頭当り年間産子数	頭 / 年			上物率	%		
母豚平均分娩回数	回 / 年			肥育豚販売手数料	円 / 頭		
販売子豚	出荷日令	日		飼料総給与量	t		
	出荷体重	kg		飼料要求率			

(採卵鶏)

区分	単位	実績	目標	区分	単位	実績	目標
鶏種	♂			淘汰方法			
	♀			産卵期間	か月		
導入ヒナ	日令	日		飼料総給与量	t		
	価格	円 / 羽		飼料要求率			
年間導入羽数	千羽			G. P. 経費	円 / kg		
育成率	%						

(ブロイラー)

区分	単位	実績	目標	区分	単位	実績	目標
鶏種				育成率	%		
ヒナ購入価格	円 / 羽			出荷日令	日		
鶏舎延坪数	坪			出荷体重	kg / 羽		
坪当たり常時飼養羽数	羽 / 坪			飼料総給与量	t		
餌付回数	回 / 年			飼料要求率			
餌付羽数	千羽 / 年						

※ 営農類型における「実績」欄については、認定新規就農者であって、経営開始初年度の場合は1年間の見込みを記載し、既に経営を開始している場合は計画作成時点の前年の状況を記載する。

(3) 計画が実行された場合に収益はどうか、融資返済は可能か

		1年目	2年目	3年目	4年目	目標(5年目)	
売上							
記入例 水 稲	経営規模						
	生産量						
	売上高						
	経営規模						
	生産量						
	売上高						
	経営規模						
	生産量						
	売上高						
	経営規模						
	生産量						
	売上高						
	その他()						
	売上原価						
	期首商製品棚卸高						
当期商品仕入高							
当期製品製造原価							
	材料費						
	労務費						
	賃借料						
	その他経費 (減価償却)						
期末商製品棚卸高							
売上総利益							
販売費・一般管理費							
	役員報酬						
	その他人件費						
	出荷販売経費						
	減価償却費						
営業利益							
営業外利益							
営業外費用							
	支払利息						
経常利益							
税引前当期利益							
法人税等充当額							
税引後当期利益							
償還財源							
償還金(元本)							
差引余剰							
施設・機械等の設備投資							
農業負債(短期)							
農業負債(長期)							
農外負債							
計							

今後改善を意図していないものについては、現状どおりの取組を記入すれば足りる